



[企業担当者様]
イベント参加の
ご案内

信州の自然と
保全団体と企業をつなぐ

参加無料

自然環境の保全活動を
応援しませんか？

信州 ネイチャーポジティブ アプローチ

オンライン開催

※当日会場での参加も可能です。

信州の豊かな自然環境の保全に取り組む団体と、
その活動を応援いただける企業等の皆さまをマッチングするための取組みとして、
「プレゼンテーションイベント」を開催いたします。



日時

2025年**2月21日** **金** 13:00~17:00

事前申込制

イベント内容について

環境保全団体の人手不足などが課題となっており、県では「生物多様保全パートナーシップ協定」制度を創設し、環境保全団体をサポートしています。今回はこの事業の一環として、積極的に団体と企業を結び付ける機会となるプレゼンテーションイベントを開催する運びとなりました。

当イベントでは保全団体の担当者による、団体の活動内容と支援が必要なこと(人手、資金等)についてのプレゼンテーションをオンライン配信いたします。

団体の10分間のプレゼンテーションの後、5分間の質疑応答を設けます。ご不明な点などあればの場でご質問をいただくことができ、前向きに支援をご検討いただく場合は、後日事務局を通じて保全団体の担当者をご紹介します。

参加方法

①オンライン視聴 ②当日会場にて参加

プレゼン団体数

15団体予定

オフライン会場

長野県教育会館(ホール) 長野市旭町1098

申込方法

裏面のエントリーシートをご記入いただき、事務局へメールでお申し込みください。
後日、事務局より当日のご案内をご連絡させていただきます。

お問い合わせ

生物多様性保全パートナーシップ協定
締結マッチング会 運営事務局
TEL.026-238-7063 E-mail:partnership@j-ad.co.jp

長野県環境部自然保護課
TEL.026-235-7178(直通)
生物多様性保全パートナーシップ協定について▶



信州の自然と
保全団体と企業をつなぐ

信州キョウキョウポジティブ アプローチ

エントリーシート(企業)

申込日	年 月 日 () ※事務局記入
企業名	
参加者	
住所	
電話	固定 () 携帯 ()
E-mail	

参加方法	①オンライン視聴 ②現地にて参加
------	------------------

申込期限 / 2025年2月13日(木)

ヒアリングシート

A サポートに興味のある分野、貴社の環境保全への取組などございましたら、自由にご記入ください。

B そのほか、事務局へのご要望

申込先 / E-mail: partnership@j-ad.co.jp

【お問い合わせ】

生物多様性保全パートナーシップ協定締結マッチング会 運営事務局 TEL.026-238-7063 / 長野県環境部自然保護課 TEL.026-235-7178(直通)

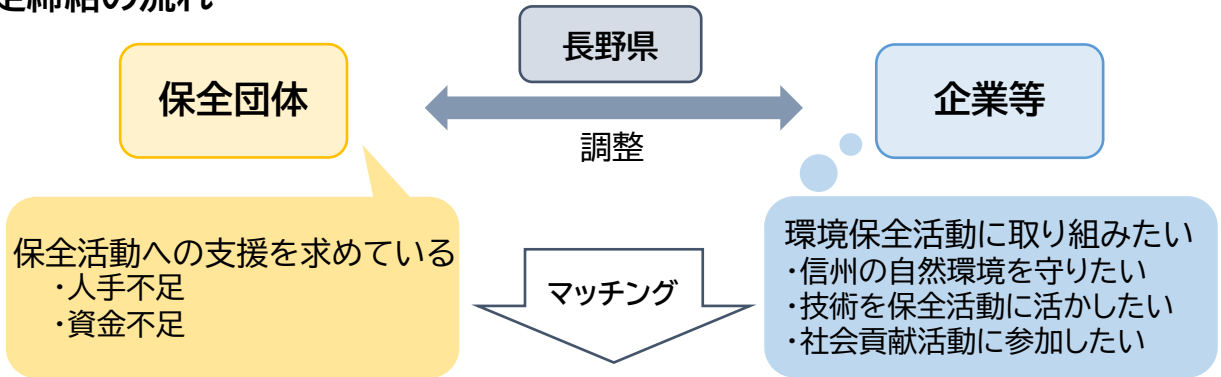
信州ネイチャーポジティブアプローチ タイムスケジュール

NO		団体名	活動地域	保護・保全対象の種、活動内容など
1	13:00	NPO法人 生物多様性研究所 あーすわーむ	佐久	・ 浅間山湯ノ平の生態系保全と浅間山麓の草原維持（特にニホンジカによる植生への影響）
2	13:15	信州水環境マップ・ネットワーク	佐久・上田・諏訪 松本・長野・北信	・ 川の水質調査 ・ 川ゴミ、川の生き物、川の景観等を調べるなど
3	13:30	軽井沢サクラソウ会議	佐久	・ サクラソウ、ヤマタバコ、アサマフウロなど在来の植物の保護活動 ・ サクラソウ全町調査、「モニタリング1000里地調査」といった調査 ・ 植物標本作成、自然講習会 ・ 住民への聞き取りと本発行（『もう一度見たい！軽井沢の草原・湿原』） ・ 国有林内での再草原化実験、休耕地での大豆栽培と味噌づくり ・ 特定外来植物の駆除（町環境課と協働） ・ 観光施設内での自然観察会、クラフト作りなどのイベント
4	13:45	ミヤマシジミ里の会	上伊那	・ 絶滅危惧種ミヤマシジミをシンボルとした里の草地の生物多様性保全 ・ ミヤマシジミの生息地の草刈り、食草コマツナギ等の在来植物の育苗・植栽、 子供向け観察会などの普及啓発イベント
5	14:00	高瀬川を愛する会	北アルプス	・ 高瀬川の環境保護 ・ 動植物の生育環境、人が自然と共生していた時代の文化
6	14:15	長野アカモズ保全研究グループ	上伊那・南信州・松本	・ アカモズ（鳥類）の保護
7	14:30	ニゴと草カップの会	木曾	・ 日本在来馬木曾馬の野草利用の文化により保たれてきた草地の自然を、文化の継承とともに保全し、草地の再生を行う。 ・ 対象の種は、アカハネバツタ、キキョウ、コヒョウモンモドキ、クガイソウ、等
8	14:45	ミヤマシジミ研究会_辰野生きものネットワーク	上伊那・南信州	・ ミヤマシジミの生息地の保全、食草のコマツナギを植栽して新しい生息環境を作る、 小学校での環境教育
	15:00~15:30	休憩		
9	15:30	信州草原再生	上田	・ 草原性の動植物全般の保護活動
10	15:45	東信自然史研究会	佐久	・ 里地里山の動植物（カヤネズミ・ミズオオバコ・ホタル類・ホトケドジョウ 等）の 保護活動
	16:00~16:15	休憩		
11	16:15	クビワコウモリを守る会	松本	・ クビワコウモリの調査及び保護活動（観察会・ねぐら保全など）

生物多様性保全パートナーシップ協定制度

信州の生物多様性の保全活動について、企業や学校など様々な主体の皆様と協働化を進め、社会全体で幅広く保全活動を支え合う仕組みづくりを目的とした制度です

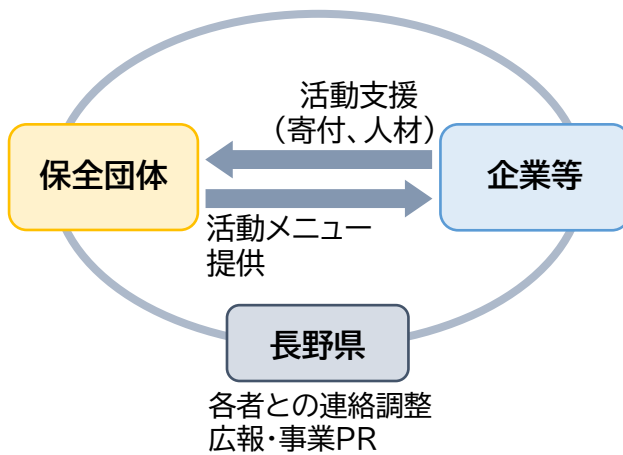
協定締結の流れ



生物多様性保全パートナーシップ協定の締結

協働で取り組む保全活動の内容、支援内容等を文書化

協定に基づく支援のイメージ



協定締結後の活動例



イヌワシの巣棚を人工的に再生(資金支援)



企業の敷地内にチヨウの生息環境を整備(団体と企業の協働活動)



社員への環境教育学習(社員研修)



企業と地元中学校が協力するブナの植樹(団体と企業の協働活動)

企業等が保全活動に参画するメリット

○30by30に貢献
SDGsや30by30に向けた企業の取組みを社会にアピールすることができ、企業や組織のPRにつながります

○人材育成の場として活用
社員研修の一環として自然保護等の社会活動に関わることで、人材育成につながります

○地域貢献
地域の自然環境保全活動に参画することで、CSR活動につながります

協定に関するご相談・お問合せ先

長野県環境部自然保護課

TEL:026-235-7178(直通)

Mail:shizenhogo@pref.nagano.lg.jp